

Title: 「こどもとわたし」



Lines of sight

～それぞれのアジアへの視線～



矢野 哲郎
1989年生まれ。20
歳。目標は飯は欠か
さず食べる。かっこ
つけない。嘘つかな
い。
駄目な自分ですが、
よろしくお願いま
す。

● 最近のエントリー

- ☑ [遅すぎた中国ブログ](#)
(2010.08.06)
- ☑ [ラサキ観光](#)
(2010.08.05)

● アーカイブ

- ☑ [2010年10月](#)
- ☑ [2010年09月](#)
- ☑ [2010年08月](#)
- ☑ [2010年07月](#)
- ☑ [2010年06月](#)
- ☑ [2010年05月](#)
- ☑ [2010年04月](#)
- ☑ [2010年03月](#)

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

OLYMPUS
Your Vision, Our Future



RSS 2.0

「こどもとわたし」 > 2010年08月 アーカイブ

10.08.06

遅すぎた中国ブログ

[Tweet](#)[Check](#)

どうも矢野です。
サバでブログが止まっているよ。どうなってるの？

いやほんとすいません...

今回は中国編。

中国の撮影がどうだったは...聞かないでください...
中国での撮影中はずっと相手に警戒されてしまい、失敗しました。
ちょっと郊外に行って撮影しようとしても、首を横に振られる、子供が家まで逃げる、親に睨ま
れる。撮影している理由を話そうとしても相手は中国語、自分は日本語と英語。
コミュニケーションがとれない。等々...
しかし警戒の仕方が少々過度ではなかるうか？

やっぱりあれか？自分が怖い顔をしてるからだろうか？

結局殆ど撮影できずに中国は終了しました。

さて今回私が行ったのは、雲南省の麗江と景洪という場所。

この時、佐藤さんに注意されました。
雲南省は今、雨で災害が起っていて、大丈夫だと思うけど、もし危険だと判断した場合はすぐ
に連絡する事。というものでした。

さて自分が行くところは怎么样了のか...



麗江

なんてことはなかった。普通に中国人の観光客がいました。
流石夏休みシーズン。観光客がいっぱい。
ちょっと街中探索





この旅で分かった事があります。
台湾の鹿港、インドのバラナシ、ネパールのバクタプル、そして中国の麗江。
細道が多い地域が好きなんです。そして自分は方向音痴という事も分かりました。
下手の横好きっていう奴ですかね。
インドのバラナシなんてもう迷路。グーグルマップは旧市街地では役に立たないくらい道がゴツチャ。幸い麗江は地図が売ってました。ホントに助かった。

夜の麗江



手ぶれしてますね。すみません。

次はマレーシア S.C...とネパールの事でも。
実は今ネパールのバクタプルにいます。フリー期間はネパールとベトナムになりました。

次の記事はネタが沢山あって楽になりそうです。

カテゴリ：

post by 矢野 哲郎 | 日時: 2010.08.06 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

10.08.05

ラサ観光。

[Tweet](#)

[Check](#)

どうも矢野です。
ラサの事を書いていきたいと思います。

ネパールの写真展が終わり、中国の成都に移動。
ここで、引率が佐藤さんにチェンジ。お久しぶりです。台湾以来です。
成都は麻婆豆腐発祥の地。ホテルの近くに元祖のお店があるので、行ってみました。

四川料理は辛いと言われていますが、あれは間違いです。正確には「痺れる」です。
料理を食べて舌が痺れるという体験ができました。山椒多すぎ。

7/15

ラサに移動。
ここで斎藤さんとお別れです。



今までありがとうございました。

そして一行はラサに到着。

ラサは標高3700mと富士山山頂と同じ高さの街があります。
当然空気も薄く、少し動いただけで息切れ。初日はホテルで休みます。



ネパール以上に空が青い。そして息苦しい。

7/16

観光で代々のダライラマが住んでいた冬の宮殿『ポタラ宮』を観光。



ポタラ宮。これを上ります。

空気が薄い状態で、この階段はキツイ…。メンバー全員息切れしながら、階段を上ります



しかし、いい眺め。



「ここから撮ったらとても綺麗に撮れますよ。」とガイドのラーさんお勤めの場所で撮影。



さて次は夏の宮殿に行きます。
ここは夏の間だけダライ・ラマが住む宮殿です。





可愛い狛犬(?)

7/17

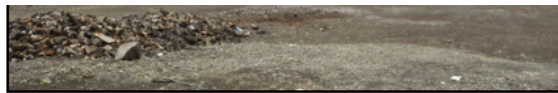
この日はさらなる高みを目指して、ヤムトク湖に行きます。標高4000メートルちょい。私の人生の中で一番標高がある場所です。

バスで九十九折りの道路を上ります。怖い。



ヤムトク湖





ここでボツンとある中華料理屋があり、そこで昼ご飯を食べることに。



料理の写真がなくてすみません。
魚はこの湖で採れた物を使っているらしいです。どれもおいしく、皆食べる食べる。
しかしある料理がマレーシアで食べたサルと同じ独特な匂いがしたのが気になりました。

...まさかね。

カテゴリ：

post by 矢野 哲郎 | 日時: 2010.08.05 | [パーマリンク](#) | [コメント \(1\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)